

media release

プレスリリース

2013年8月20日

ニュージーランドの同性カップル、3万フィート上空で挙式

ニュージーランドにて同性婚が合法化された8月19日、ニュージーランド航空のクイーンズタウン-オークランド間のスペシャルフライト上で、オークランド在住のカップルが結婚式を挙げました。

選ばれたカップルはリンレイ・ベンドールさんとアリー・ワニカウさん。ほぼ14年間連れ添ってきた二人は、3人の子供ジャヴァーン（9歳）、メイシー（7歳）、ミカエレ（6歳）と、アリーの息子デイモンを含む家族と友人の前で誓いの言葉を述べました。二人は、従来の結婚指輪の代わりにマオリの伝統的な宝石である「パウナム（翡翠）」を交換し、米国人俳優のジェシー・タイラー・ファーガソン氏立会いのもと、正式に結婚を宣言しました。

ジェシー・ファーガソン氏は米国の人気TV番組「モダン・ファミリー」に出演する俳優で、婚姻の平等を訴える活動をしており、自身も長年のパートナーであるジャスティン・ミキータ氏と結婚したばかりです。

ファーガソン氏は「リンレイとアリーの、この歴史的で喜ばしい瞬間に立ち会うことができたことを、心からうれしく思います。婚姻の平等はパートナーであるジャスティンと私にとっても、非常に大切なことなのです」と語りました。

式に続いては、サプライズの聖歌隊が現れ、4月に同性婚の法案が通過した際にニュージーランド国会でも歌われた伝統的な愛の歌「ポカレカレ・アナ」を披露しました。

リンレイさんは、「13年間の交際が公式に認められる機会をずっと待っていました。新婚と呼ばれることに心から喜びを感じます。3万フィート上空で、子供たちや友達、家族の前で結婚式を挙げることができたのは、ただでさえ思い出深い1日を、より一層特別なものにしてくれました。しかも、ジェシーが式に参列してくれたなんて、まさに驚きです。私たちは『モダン・ファミリー』の大ファンですから！」と語っています。

また、ファーガソン氏とミキータ氏は子供たちに、婚姻の平等を広めるチャリティ活動「タイ・ザ・ノット」の蝶ネクタイをプレゼントしました。

ニュージーランド航空チーフ・ピープル・オフィサー、ロレイン・マーフィーは、「機上での式は、新しい法律の施行を記憶に刻む、印象的な方法だったと思います。機内は本当に陽気でおめでたい雰囲気にもまれ、誓いの言葉の後に沸き起こった拍手

には胸を打たれました。ニュージーランドの多様性を象徴する、素晴らしい式でした」と述べています。

二人は19日夜、ロサンゼルス行きニュージーランド航空便にて、パーム・スプリングスでの新婚旅行に発つ予定です。



(写真左：機内結婚式の様子)



(写真右：特別機の前で)

結婚式の様子（写真・動画）は、下記サイトにてご覧いただけます。

www.airnzloveisintheair.com

※本件は、2013年8月19日ニュージーランドで発表されている内容です。

【ニュージーランド航空について】

ニュージーランド航空は、1940年に設立された国際航空会社です。ニュージーランド国内をはじめ、アジア太平洋を含む16ヶ国53都市へ直行便を運航し、スターアライアンスに加盟しています。日本からニュージーランドへ、直行便を運航する唯一の航空会社でもあります。同社は、世界の航空会社で初めて、2010年・2012年と、3年間に2度エア・トランスポート・ワールド誌「エアライン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれたのはじめ、数々の賞を受賞しています。

公式ホームページ：www.airnewzealand.jp

Facebook：www.facebook.com/AirNZJP

この件に関するメディアの方からのお問い合わせ先:

ニュージーランド航空 広報部 矢我崎・平沢

TEL: 03-5521-2733 FAX: 03-5521-2740